

「思考研究の最前線」講演会

(第24回グローバルCOE共催講演会：ユニットD)

グローバルCOEユニットB共催の講演会を以下のように開催します。講演は英語で行います。申し込み不要，入場無料です。

日時：2009年8月30日（日）9時30分～11時30分

場所：京都大学百周年時計台記念館2階 会議室4

講演者：松香敏彦（千葉大学文学部行動科学科准教授）

Steven A. Sloman（ブラウン大学認知・言語科学部教授）

共催：グローバルCOE「心が活きる教育のための国際的拠点」（ユニットB）・
関西思考研究会

問い合わせ：楠見 孝 kusumi@educ.kyoto-u.ac.jp（@が全角なのでコピー&ペーストするときには注意してください）

本講演会では、日本心理学会第73回大会（8/26-28；立命館大学）で招待講演を行うSloman先生とその通訳をつとめる松香先生を招いて、それぞれの研究の最前線について話題提供いただきます。Sloman先生は、推論、カテゴリ化、確率判断に関する研究の第一人者です。松香先生は、一昨年米国から帰国し、カテゴリ学習の計算モデルによるシミュレーション研究を進めている研究者です。

今回は、立命館大学の服部雅史教授との共同企画により、グローバルCOEおよび関西思考研究会共催講演会として開催することになりました。思考研究の新しい理論とアプローチに関心のある多くの方の参加をお待ちしています。

9:30-10:30

発表者：松香敏彦（千葉大学文学部行動科学科准教授）

<http://muscat.l.chiba-u.ac.jp/>

タイトル：Correlation sensitivity, linearly separability, and predictive inference in models of category learning.（カテゴリ学習のモデルにおける相関敏感性，線形分離性，予期的推論）

10:30-11:30

発表者：Steven A. Sloman（ブラウン大学認知・言語科学部教授）

http://research.brown.edu/myresearch/Steven_Sloman

タイトル：Asymmetries in Causal Induction（因果帰納における非対称性）